

カナパイプJ型(スパイラルタイプ)

本強度計算書は、JH 日本道路公団 高密度ポリエチレン波付管 (用排水管編)(案)設計・施工要領 平成 12 年 11 月 に基づくものである。

車輛総荷重 [kN]	T荷重 250(後輪片側 98.1kN)
有効支承角 $2\alpha$ [°]	120
土の比重 $\gamma$ [kN/m <sup>3</sup> ]	19.6 [2.0tf/m <sup>3</sup> × 9.8]
許容応力度 [N/mm <sup>2</sup> ]	9.8 [19.6(引張強度) / 2 (安全率)]
許容撓み率 [%]	5.0

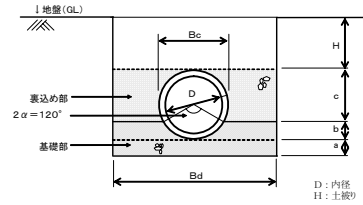


表 「設計要領 用排水構造物標準設計図集」に基づく埋設断面

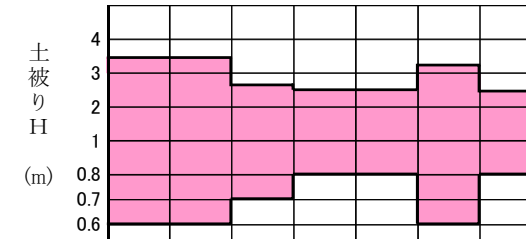
口径	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	φ 500	φ 550	φ 600
Bd	0.600	0.700	0.800	0.900	1.000	1.100	1.200
a	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200	0.200
b	0.090	0.100	0.120	0.130	0.150	0.160	0.170
c	0.271	0.295	0.348	0.386	0.429	0.470	0.527

(ただし、c については、当社の配管寸法による)

土被り表

カナパイプJ型

※NEXCO 高密度ポリエチレン波付管 設計・施工要領(用排水管編)に基づいた計算によるもの



サイズ	φ 300	φ 350	φ 400	φ 450	φ 500	φ 550	φ 600
最大土被り (m)	3.5	3.5	2.6	2.5	2.5	3.2	2.4
最小土被り (m)	0.6	0.6	0.7	0.8	0.8	0.6	0.8

計算条件

活荷重	T荷重 250kN(後輪片側 98.1kN)
土の単位体積重量	19.6kN/m <sup>3</sup>
管の許容変形率	5.0%
管の許容応力度	9.8N/mm <sup>2</sup>

注意 上表は計算上の結果であるため、参考資料として取扱い願います。